

(19) 日本圆领诗序 (198)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2001-47161
(P2001-47161A)

(43) 公開日 平成13年2月20日(2001.2.20)

B21D 30/20

藏別院

三

B 2 1 D 39, 20

二〇一〇（参考）

۲۷

審査請求 本請求 請求項の数 7 OL (全 4 頁)

(21)出願番号 特願平11-228876

(71)出願人 000003713

大同特殊鋼株式会社

愛知県名古屋市中区第一丁目11番18号

(22)用印日 平成11年8月12日(1999.8.12)

(72) 烈明者 冷水 幸夫

愛知県名古屋市天白区衣山二丁目31番地

八事サンハイツ501

堀尾 達次

渤海短史

第二十一回

卷之三

130070131

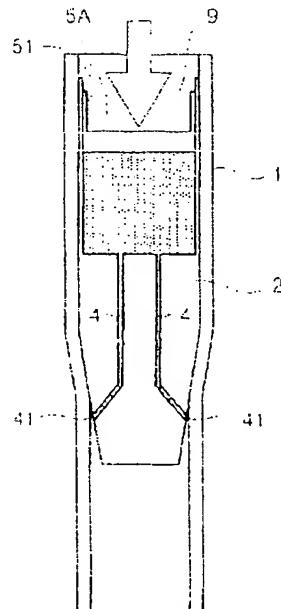
最終自訂範本

(54) [発明の名前] 細胞管の構造方法および挿管工具

• 57 •

【課題】 既存の工具、新規に追加型の新規工具
・等を用いて、各所の開拓地で、その伸び力をもつて、前進
され得る所には、新規工具を拡張されることとなる複数
開拓地にて、既存の工具地盤上に及ぼす長きの影響
等、何時も正確に予測する方法と、新規工具を提供する
方法

【政治小説】 本小説は幕末開港の「さくら」を題材として、その開港に際しての政治的、経済的、社会的変動を描いてゐる。開港場所は横浜であるが、その開港に際しては、幕府と開港場所を争うた英國の公使館の存在が、物語の大きな背景となる。開港場所は、開港場所を争うた英國の公使館の存在が、物語の大きな背景となる。



既に火力を變じて、ヨン之内潤滑剤に係る手段を設け、前等打撃（二）の面進に伴つて潤滑剤（本）を扼落する所、ヨン之内監に供奉するよに構成したこと、特此申上る。

【（1）】潤滑剤の吐送：工具開口するより、4寸の接管工具、之のハンドル上面の位置は、図2に示したとおりで、接管工具と接触する直前よりたる溝通孔を通じて、この位置において潤滑剤を吐出されることにより、金属管の内壁へ潤滑剤の確実な適用が可能となる。但し作業用接管等は保護される。

【(1)】液体・圧力を経てタンク内の潤滑剤に送る潤滑手段の一例は、図3に示したとおり、タングル・圧力液体に接する面に設けた、溝とし蓋形状を有する「隔壁」の立ち上り斜面部分(51)から、かぎりの内蔵部に密着して上下することできる荷役装置(52)である。製作および使用が容易さの点で、これが目的とよく好適である。

〔四〕(1)「筋力低下手段の別」の項は、上記した振り門頭部の部分を、區別に記すように、振り周囲に設けたシート、(2)に記述した振り手口である。この構造を指明するときは、柄が握る所、上に、適宜、右手等を手筋を講ずることよい。

【四】上】を用いて測定し、圧力伝達手段として、園柱に沿うようにして、各々の圧力流体に接する面を費さず、一端は開口部で、他端は、使用するものである。これが、前記第2図、同様、マスチックを用いて構成することになる。

【図1-1】本発明の被清工具の変更態様は、図1-1に示す如き、主軸の前方に向けて軸方向に延びる水噴射管、これを設け、その先端を、潤滑剤導管の噴口部より前方に設置し、被清室、水管の内壁に向かって洗浄水流を噴射する構成である。主軸の前方に開口部を設けるものであ

拔管工具	剥线钳
作用用力	最大值
拉力试验	平均值
拉管破断张力	2.80

1 . 1 . 1

【心地の説教】を乞うて、海居は著し、伊藤は、心地の説教をも、久井氏の『新説』を通じて、精神的に摂取する作業として、何處で実施せらるゝにしても、確めて本説唱の場所に傳播するものであることを認めた。伊藤は本説唱の場所に傳播するものであることを認めた。伊藤は本説唱の場所に傳播するものであることを認めた。伊藤は本説唱の場所に傳播するものであることを認めた。伊藤は本説唱の場所に傳播するものであることを認めた。

五、總結說明

【図1】 地形技術による高層建築の地盤作業を示す、諸条件を考慮した地盤断面図

（三）在细胞生物学上，细胞壁是植物细胞的外层结构。

ふ こゝ純潔に付ねば、排管に先だって管内壁を清浄に
することができるから、異物が付着していた場合に排管
工具の進行に伴って生じるキズを、未然に防ぐことがで
きる。

[Oct 13]

【実施例】高圧記者用震度鋼管（S-T-S-4-10）（外
径φ54.5mm、内径15.9mm、長さ6m、肉厚6.0mm、
長さ6m）を20本、マーク落接によりつなぎ合せ
て、全長12.0mとしたものを、各本用意した。これら
に張尺の鋼管を、それぞれ図1ないし図4に示した構造
の取替工具（いずれも協賛事がついたるよう設計
・製作したもの）を使用して被管した。

【図1-1-5】潤滑剤としては、グリースに二硫化モリブデン粉末を、混合物のうち重量%を含めるように混練したものを使刷した。塗装工具の表面にも、同じ潤滑剤を塗布した。比較のため、従来技術（图1-1-3塗装工具）による実験も行なった。この場合は、溶接に先立って、各鋼管の内面に両端からさりげなく延長を残して潤滑剤を注入しておいた。

【0016】上記の長尺钢管を固定し、その一端に抜管工具を油圧ピストンで押し込んでから密閉し、密閉空間にポンプで水を注入することにより抜管工具を前進させ、钢管を行なった。その間、ポンプで注入した水の圧力を測定した。比較例は、钢管の途中で工具が停止したか、あるいは圧力を高めていったところ、溶接箇所の手前の凸部部分で破断してしまった。

【100-17】便管後、接続部分の中間に切断し、長さが
約1mの管上り本に分けた。アムスラ式万能試験機（20
kgトントン）にかけて引張試験を行ない、破断が生じる箇所
が接続部であるか母材であるかを調べた。その結果を、
表に示すとともに、下部表にまとめて示す。

[111] 8

Figure 1. The effect of the number of training samples on the performance of the proposed model.

0.0	3.20	2.90	2.50
3.0	2.80	2.30	2.10
10	19.19	19.19	19.19

図1に封底支具管と抜管工具との輪廓面図

【図5】 本発明による抜管工具の別の例を示す。図上と同様に薄断面図

〔図1〕 本発明による核管工具のうち、特に剝離剝離工具の剥離剝離部の断面図

【図5】 本発明による杖籠工具の構造別剖面を示す。図5Aは同様の構造である。

100% RECYCLED

- | | |
|-----------------|---------|
| 1. 全屬管 | |
| 2. 指管工具 | |
| 3. 鋸管割刀ランク | |
| 4. 刮削器の導管 | 4-1 標準刮 |
| 5. ドリル | |
| 6. 荷重筒仕様・圧力伝達手段 | 5-1 明簡法 |

PN - JP2001047161 A 20010220

PD - 2001-02-20

PR - JP19990228876 19990812

OPD- 1999-08-12

TI - TUBE EXPANDING METHOD OF METAL TUBE AND TUBE EXPANDING TOOL

IN - INAGAKI SHIGEYUKI;KITO KAZUNARI;HIYAMIZU TAKAO;HORIO KOJI;YAMADA RYUZO

PA - DAIDO STEEL CO LTD

EC - E21B43/10F ; E21B43/10F1

IC - B21D39/20

TI - Metallic tube expansion method for oil wells, involves supplying lubricant through tube before expansion by expanding tool

PR - JP19990228876 19990812

PN - JP2001047161 A 20010220 DW200126 B21D39/20 004pp

PA - (DAIZ) DAIDO TOKUSHUKO KK

IC - B21D39/20

AB - JP2001047161 NOVELTY - The method involves supplying the lubricant through the metallic tube (1), before expansion by the expansion tool (2).

- DETAILED DESCRIPTION - The common ball type expansion tool (2) is inserted into the metallic tube (1). The internal diameter of the tube is expanded by the pressure of hydrolyc fluid from the rear side of the tool. An INDEPENDENT CLAIM is also included for tube widening tool.

- USE - For casing tube, telescopic tube, coiled tubes in oil well, gas well, refinery.

- ADVANTAGE - The expansion work is executed smoothly and continuously.

- DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the sectional elevation of tube expansion tool.

- Metallic tube 1

- Expansion tool 2

- (Dwg.2/5)

OPD- 1999-08-12

AN - 2001-252189 [26]

PN - JP2001047161 A 20010220

PD - 2001-02-20

AP - JP19990228876 19990812

IN - HIYAMIZU TAKAO;HORIO KOJI;KITO KAZUNARI;NAGAKI SHIGEYUKI;YAMADA RYUZO

PA - DAIDO STEEL CO LTD

TI - TUBE EXPANDING METHOD OF METAL TUBE AND TUBE EXPANDING TOOL

AB - PROBLEM TO BE SOLVED: To expand a metal tube having a length of several-hundred meters or more in a tube expanding technology by which a bullet shaped tube expanding tool is inserted into the inside of the metal tube, a fluid pressure is applied from rear side and an inner diameter of the tube is expanded by advancing the tool.

- SOLUTION: A tube expanding tool, which has a lubricant tank at a rear part, is arranged with a lubricant conduit tube 4 extending from a bottom of the lubricant tank and opening to a tapered face at the front part and is arranged with a pressure transfer means to receive/transfer a fluid pressure to the lubricant in the lubricant tank, is used, the tube expanding tool is advanced while continuously and uniformly suppiying the lubricant to a tube inner wall part immediately before tube expanding.

I - B21D39/20